

利賀小学校の児童たちが 水辺の生き物と水質を調査します

1. 調査の概要

国土交通省では、身近な河川の水質状況を知っていただくとともに、河川の水質や河川愛護の重要性を認識していただくことを目的として、昭和59年より水生生物による水質の簡易調査を実施しています。

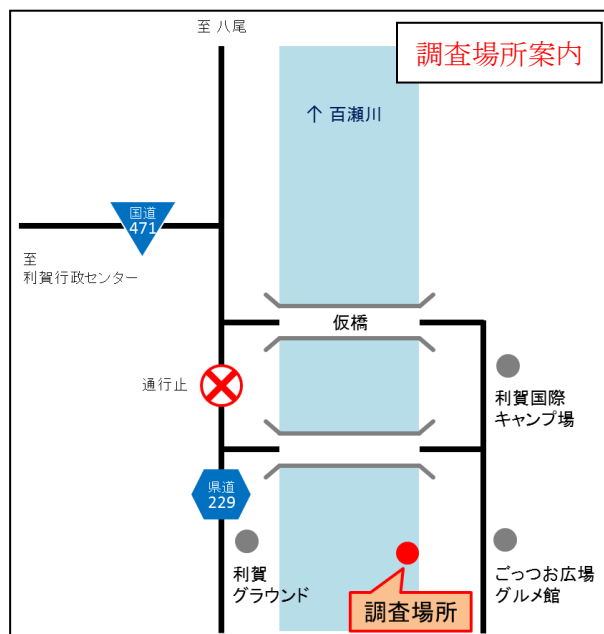
2. 調査日時・場所

- ・実施日時 7月31日(火) 13:45~16:00頃
予備日8月2日(木)
- ・参加者 南砺市立利賀小学校 3、4年生児童4名
- ・調査場所 神通川水系百瀬川
(利賀国際キャンプ場付近) (右図参照)

3. その他

前日または当日が雨天等の場合は、調査を中止する場合があります。

※河川状況によって調査を中止する場合があります。



問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所
(全般) 副所長 岡田 茂彦(内線 204)
(当日の問い合わせ先) 調査設計課長 藤本 昌利(内線 351)
TEL (0763)-33-4701(代表) <http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>



【参考】

水生生物による水質の簡易調査について

利賀ダム工事事務所では平成16年度より庄川水系利賀川と神通川水系百瀬川で交互に調査を行っており、今回で15回目になります。

河川の水質は、BOD、SSなど理化学分析の結果によって評価を行っていますが、この「水生生物調査」はヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ等の水生生物の生存種や個体数などを調べることによって、河川の水質状態を簡易的に評価するものです。

調査方法は、川の中や石に付着している生きものを網などで採取して、種類の特定とどのような水質にいる生きものなのかを写真などで見比べ、その種類や数によって“きれいな水” “少しきたない水” “きたない水” “大変きたない水”の4段階に水質を判定します。

昨年度、利賀川において、利賀小学校児童が調査した結果は、「きれいな水」という判定でした。



< 平成29年7月に実施した「水生生物調査」の様子 >